

北海道の国指定厚岸<sup>あつけし</sup>・別寒辺牛<sup>べかんべうし</sup>・霧多布鳥獣保護区<sup>きりたっぶ</sup>及びその周辺  
における高病原性鳥インフルエンザウイルス・強毒タイプの確認について  
(情報提供)

以下に現時点における情報を提供します。

本日、北海道の国指定厚岸<sup>あつけし</sup>・別寒辺牛<sup>べかんべうし</sup>・霧多布鳥獣保護区<sup>きりたっぶ</sup>(北海道浜中町丸山  
散布、1月23日に公表したオオハクチョウ他の回収地周辺の場所)において回  
収された野鳥1羽について、詳細検査の結果が判明し、高病原性鳥インフルエン  
ザウイルス・強毒タイプが確認されたとの報告が北海道大学からありました。経  
緯等は以下の通りです。

○スズガモ1羽(7日回収。簡易検査陽性。北海道大学へ移送、詳細検査)につ  
いて、H5N1亜型・強毒タイプと判明。

環境省は、関係府省、北海道等と連携して、レベル3の取組を引き続き推進し  
てまいります。

【取材について】

○現場での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐ観点から、厳に慎むようお願い  
します。

平成23年2月14日(月)  
自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室  
直 通：03-5521-8285  
代 表：03-3581-3351  
室 長：宮澤 俊輔 (内線6470)  
室長補佐：山本 麻衣 (内線6471)  
専 門 官：福嶋 貢史 (内線6474)  
担 当：千葉 康人 (内線6473)  
(釧路自然環境事務所 0154-32-7500)